

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Liebeおおがま		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日		2025年 3月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎週の会議で情報共有や改善点を話し合うなど、PDCAサイクルを活用した業務改善が定着している。	児童発達支援計画の作成時に、支援職員全員で共通理解を持つことを重視している。	標準化されたツールの活用を進め、児童の適応行動の状況をより正確に評価できるよう改善する。
2	事故防止マニュアルや防犯・感染症対応マニュアルの策定、訓練の実施など、安全管理が徹底されている。	HPやSNSを活用し、事業所の活動や行事予定を保護者に発信している。	
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の医療・福祉・教育機関との連携が少ない印象がある	施設内での改善は進んでいるが、外部機関との連携を深める機会が少ない。	地域の医療・福祉・教育機関と定期的な会議の場に参加し、情報共有を行う。
2	地域住民を招くイベントが少なく、インクルージョン推進の取り組みが限定的。	新しい取り組み(例えば保護者会の開催や学校訪問など)を増やすための時間や人員が不足している。	ペアレント・トレーニングや保護者会など、保護者が交流・学び合える機会を増やす。
3			